

上野原縄文の森開園20周年！！



上野原縄文の森

上野原縄文の森開園20周年記念 第64回企画展 「南の縄文文化～縄文人の心を探る～」

上野原縄文の森は、平成14年10月5日に「縄文時代早期前葉の国内最古・最大級の定住集落跡」（国指定史跡）や「縄文時代早期後葉の精神文化がわかる出土品」（重要文化財）などが発見された上野原遺跡の保存・活用を目的に開園し、本年度で20周年を迎えます。



この20年の間、全国で、縄文遺跡の発掘調査が数多く行われるとともに科学分析の進展などにより新たな調査成果が報告され、縄文時代観も変化してきています。

さらに令和3年7月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録され、縄文文化への関心も高まっています。

そこで今回の企画展では、開園20周年を記念して、九州・鹿児島を中心とした南の縄文文化、中でも祈りの精神文化に焦点を当て、北の縄文文化と比較しながら探るとともに、縄文時代に関する最新の研究成果も取り上げ紹介します。

【開催期間】9月17日（土）～11月23日（水・祝）

【場所】
上野原縄文の森
展示館 企画展示室

【観覧料金】
展示館入館料



（土偶：上野原遺跡）

上野原縄文の森開園20周年記念 かごしま遺跡フォーラム

【日時】10月22日（土）10:00～16:00

【場所】霧島市国分シビックセンター
多目的ルーム

【内容】

・第一部（10:00～11:30）
「上野原遺跡と南の縄文世界～縄文文化観の転換に迫る～」

講師：南九州縄文研究会
前会長 新東晃一 氏

・第二部（13:00～14:15）
「縄文時代の植物の利用について」

①明らかになった縄文人の知恵と技
講師：鹿児島県教育庁文化財課 眞邊 彩 氏

②縄文人を支えた南の豊かな森
講師：環境カウンセラー（県立埋蔵文化財センター元所長）寺田 仁志 氏

③X線装置による第三の発掘（仮）
講師：熊本大学教授 小畑 弘己 氏

・パネルディスカッション（14:30～15:20）
・室内展示案内（～16:00）
（第一部と第二部それぞれ参加も可能です）

【定員】先着200人（要事前申込み）

【資料代】500円程度

【申込受付】上野原縄文の森（随時受付中）

TEL：0995-48-5701 FAX：0995-48-5704

HP：<https://www.jomon-no-mori.jp>

Eメール：uenohara@jomon-no-mori.jp



上：伝青森県出土屈折像土偶
左：土偶
（上半身正面）

（九州国立博物館蔵）
（撮影者 落合晴彦）